



2025年仙台国際音楽コンクール最高位受賞記念 次世代ヴァイオリニスト「ムン・ボハ」リサイタル

駐日韓国文化院では次世代韓国人ヴァイオリニスト「ムン・ボハ」氏のリサイタルを5月18日に韓国文化院で開催します。

ムン・ボハ氏は韓国内外の数多くのコンクールで第1位に輝くほか、海外でソロリサイタルや交響楽団との共演を果たすなど、クラシック界で注目を集めるライジングスターです。

この度のリサイタルは、2025年仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門において最高位（第2位）を受賞したことを記念して企画され、日本各地において著名な演奏家との共演を重ねる室内楽の名手・小澤佳永氏と共演します。

公演ではドヴォルザークのスラヴ舞曲やシューベルトの幻想曲を含む全4曲を披露する予定です。

つきましては、本イベントの周知にご協力をお願いします。写真資料、出演者の詳しいプロフィールなどのご依頼、ご取材のお申込については、韓国文化院までご連絡ください。

★マスコミの方々でご鑑賞をご希望の方にはお席をご用意いたしますので、
メール 《 pr@koreanculture.jp 》までご一報ください。



【イベント概要】

- 行事名：次世代ヴァイオリニスト「ムン・ボハ」リサイタル
- 日時：2026年5月18日（月）19:00開演（18:30開場）
- 会場：駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール（東京都新宿区四谷 4-4-10）
- アクセス：東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」1番出口より徒歩5分
- 主催：駐日韓国大使館 韓国文化院
- 協力：仙台国際音楽コンクール事務局
- ★本イベントは事前申込制（無料招待）です。（申込受付は終了）

【お問合せ】 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp
イベント担当 朴志勲（パク・ジフン） ☎03-3357-5975 ✉ stage@koreanculture.jp
広報担当 趙恩京（ジョ・ウンギョン） ☎03-3357-5972 ✉ pr@koreanculture.jp

【出演】

ムン・ボハ MOON Boha (ヴァイオリン)



©Jung Hyun Heo

第9回(2025年)仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位(第2位)受賞の次世代ヴァイオリニスト

2006年韓国生まれ。これまでに、ピエール・アモイヤル、ヨゼフ・シュパチェク、キム・ナムユン等に師事。現在はカーティス音楽院でアイダ・カヴァフィアンのもと研鑽を積む。IMA音楽賞、ユーロアジア国際など多くのコンクールで第1位に輝くほか、レオニード・コーガン、ユーディ・メニューイン国際などで入賞。ドイツのフェスティヴァル・デア・ナツィオーネンにおいてヤング・アーティスト・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、バイエルン放送交響楽団メンバーと共演。2025年10月より、笹川音楽財団から貸与された1709年製のストラディヴァリウス「エングルマン」を使用。

仙台国際音楽コンクール

2001年から3年ごとに開催されているヴァイオリンとピアノの2部門による国際コンクール。協奏曲を課題曲の中心に据えている特徴があり、若手音楽家の登竜門として世界から多くの注目と期待を集めている。これまでに、スヴェトリン・ルセフ、クララ・ジュミ・カンなど、世界で活躍する音楽家を多数輩出。2028年には記念すべき第10回目を迎える。

小澤 佳永 OZAWA Kae (ピアノ)

日本各地で名立たる奏者と共演を重ねる室内楽の名手

東京藝術大学大学院修士課程ピアノ専攻修了。現在同大学管打楽科演奏研究員。第25回ヴィオッティ・ヴァルセジァ国際ピアノコンクール、ジュラ・キシユ国際ピアノコンクール、ペトロフピアノコンクール等にて入賞。ペオリア交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団と協演。中日賞受賞。第90回日本音楽コンクール特別賞受賞。サントリーホール室内楽アカデミー第1-3期生。日本木管コンクール、宗次エンジェルヴァイオリンコンクールにて公式伴奏者を務める。



【プログラム】

クライスラー：ウィーン風狂想的幻想曲

古き良きウィーンワルツ様式が用いられた優雅な作品。ヴァイオリン低弦の豊かな音も魅力的で、多彩な音色が楽しめる。

ドヴォルザーク(クライスラー編曲)：スラヴ舞曲 第2番 ホ短調 op.72-2

元々は、ドヴォルザークがピアノ連弾用に作曲した作品集の中の1曲。ヴァイオリンの名手であり作曲家でもあったクライスラーがヴァイオリンとピアノのために編曲した、東ヨーロッパの民族的な作品。

シューベルト：幻想曲 八長調 D934

シューベルトの歌曲「Sei mir gegrüsst(僕の挨拶を)」をもとに作曲された。親しみのあるメロディを感情の激しさと技巧に満ちた壮大な作品に変容させており、まるでヴァイオリンとピアノが会話をしているかのような作品。

ヴェニャフスキ：「ファウスト」の主題による幻想曲 op.20

フランスで生まれ育ったグノーが作曲したオペラ「ファウスト」の主題をもとに、ポーランドのヴァイオリニスト・ヴェニャフスキが作曲。オペラの主題が次々に華やかに登場する、高度な技術が求められる作品。